



## 2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書説明会の開催状況について

本博覧会の環境影響評価については、横浜市環境影響評価条例に基づき、環境影響評価準備書（以下、「準備書」という。）の手続きを進めていますが、同条例による説明会を実施しましたので、開催状況についてお知らせします。

### 1 説明会の開催について

日	時間	会場	参加人数
10月27日(金)	18時30分～20時30分	瀬谷公会堂	80名
10月28日(土)	18時00分～20時00分	旭区役所新館2階大会議室	15名
10月29日(日)	18時30分～20時30分	瀬谷公会堂	39名
10月30日(月)	18時30分～20時30分	旭公会堂	26名

※会場での説明内容と同様の「説明動画」を2027年国際園芸博覧会協会ホームページ（右のQRコード参照）にて公開しています。



### 2 説明会当日の主な質疑について（裏面参照）

当日は、交通関連（地域社会等）、生物多様性、水循環、騒音等の質疑がありました。主な質疑の概要については、裏面に記載していますのでご覧ください。

### 3 準備書の縦覧及び意見書の提出について

#### (1) 準備書の縦覧について

- ・縦覧期間：令和5年10月25日(水)から12月8日(金)まで（土・日・祝日を除く）
- ・縦覧場所：①環境創造局環境影響評価課、②旭区役所区政推進課広報相談係、③瀬谷区役所区政推進課広報相談係  
（※縦覧時間：午前8時45分から午後5時（①は午後5時15分まで））
- ・閲覧場所：横浜市中心図書館、瀬谷図書館、旭図書館（※閲覧時間：開館時間中）
- ・横浜市ホームページ：環境創造局環境影響評価課ホームページで公開  
（※「横浜市 環境アセスメント 園芸博覧会」と検索して下さい。）

#### (2) 意見書の提出について（※ 提出期限：令和5年12月8日（金）まで）

準備書について環境の保全の見地からご意見のある方は、意見書を提出することができます。提出期間は、縦覧期間と同じです。意見書用紙に記入し、環境創造局環境影響評価課に持参又は郵送による提出、もしくは電子申請で行うことができます。

## ○主な質疑の概要一覧

項目	説明会参加者からの質疑の概要	事業者からの回答
交通関連 (地域社会等)	開催時の交通量を予測する際は、道路拡幅や交差点改良などを考慮しているのか。	開催時における道路の整備状況等を考慮して予測・評価を行っています。
	準備書には、1,000万人以上が来場しても影響しない、渋滞しないとあるが、仕事で環状4号線や瀬谷柏尾線を使っているが、もし渋滞が発生したら、営業補償してもらえるのか。	開催中の交通については、将来の道路の整備状況を踏まえ、予測・評価を行っています。会場周辺の主要な交差点における交差点需要率等から、交通流に影響を与えるような渋滞は生じないことを確認しています。交通渋滞に伴って、営業補償を行うという考えはありません。
	細谷戸団地前の道路は、現在も多くの車が往来しており、以前には交通事故もあった。近隣住民のために道路整備を優先してほしい。	横浜市の土地区画整理事業で拡幅整備する道路であり、両側に歩道が整備されることになっています。
	上瀬谷小学校の登下校の時間帯に工事用の大型車両が通過するのは心配だ。歩道はいつ頃に整備されるのか。	本博覧会の開催までに横浜市が歩道を整備すると考えています。また、本博覧会の工事の事業者が決まった段階で、小学校も含めて周辺にお住まいの皆様のご意見を聞きながら、交通安全対策等を検討していきたいと考えています。
生物多様性	博覧会の工事で環境が改変されて、動植物がいなくなったらどうするのか。動植物に関する事後調査は行わないのか。	横浜市によって基盤整備等が実施され、保全対象種の生息・生育環境等が創出されます。本博覧会では、この保全対象種の生息・生育環境等は改変せず、保全・活用するため、生物多様性については事後調査を実施しません。
	海外からの植物は、どのように管理をするのか。	海外からの植物については、関係法令等に適合した適切な管理を行います。
水循環	雨水浸透柵の設置などにより地下浸透させるとあるが、駐車場や園路は舗装するので、相沢川に流れ込む雨水量は多くなると考える。また、相沢川は昔からよく氾濫し、今年も内水氾濫で道路冠水が起きており、不安を感じている。	駐車場や園路など本博覧会の施設整備では、できる限り雨水を地下に浸透させるなど、河川の流量の増加を軽減できるよう努めます。また、横浜市の土地区画整理事業や公園整備事業では、雨水流出抑制のため、調整池を整備することになっています。横浜市と博覧会協会が協力しながら対応を考えていきます。
騒音	細谷戸団地の北側には営業施設が近接しており、騒音の発生が懸念される。静かに暮らしたいので、営業施設は移動してほしい。	細谷戸団地の北側道路は横浜市の土地区画整理事業によって拡幅されます。また、営業施設との間には植樹帯や管理用道路を整備することになっており、細谷戸団地からは十分に離隔がとれるようにしたいと考えています。
その他	説明会の参加者数が少ないと感じている。開催案内は関係する区の全域に配布すべきだと考える。	説明会の開催案内については、約2万部を印刷して、対象事業実施区域の周辺に各戸配布しています。また、できるだけ多くの方に知っていただくため、博覧会協会ホームページで本日のスライド等を読み上げた動画や、本日お配りした資料等をご覧になっていただけるようにしています。
	瀬谷みはらし公園にゴミを捨てる人がおり、毎日ゴミ拾いをしている。博覧会の来場者等がゴミを捨てないようにしてほしい。	瀬谷みはらし公園へのゴミの廃棄については、ご意見があったことを横浜市に伝えます。また、本博覧会の来場者が周辺にゴミを廃棄しないよう周知徹底していきます。